

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京女子医科大学
設置者名	学校法人 東京女子医科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
医学部	医学科	夜・通信			19	19	19	
		夜・通信						
看護学部	看護学科	夜・通信			46	46	13	
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://cx.twmu.ac.jp/campusweb/slbssrch.do?clearAccessData=true&contentnam=slbssrch&kinmnNo=2>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京女子医科大学
設置者名	学校法人 東京女子医科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.twmu.ac.jp/univ/about/director.php>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	本学理事長	2025年6月 25日～2029 年6月定例 評議員会終 了まで	理事長
常勤	理事	同上	専門的な知識や経 験を活かして法人 の運営に関与
非常勤	学校法人 理事長	同上	専門的な知識や経 験を活かして法人 の運営に関与
非常勤	大学教授	同上	同上
非常勤	弁護士	同上	同上
非常勤	大学名誉教授	同上	同上
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京女子医科大学
設置者名	学校法人 東京女子医科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 本学では、「医学の蘊奥（うんおう）を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する」を建学の精神としている。また、「至誠と愛」を大学の理念とし、これに基づき、学則において、大学の目的を「女子に医学ならびに看護学の理論と実際を教授し、創造的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献する医療人を育成するとともに、深く学術を研究し、広く文化の発展に寄与すること」と定めている。これらに基づき、医学部、看護学部においてカリキュラムポリシーを制定している。 それぞれのカリキュラムポリシーに則り、授業科目のシラバスを作成し、ホームページで広く一般に公開するとともに、学生に対してはポータルサイトで閲覧を可能にしており、利便性を図っている。 シラバスについては、毎年度9月以降に各担当教員に作成依頼し、毎年度3月末までには作成し、新年度の授業開始に支障がないように実施している。	
授業計画書の公表方法	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・授業科目の履修修了の認定は、試験等の成績に基づき、教授会の議を経て、学長が決定する。 ・成績の評価は S・A・B・C・D の 5 種類とし、S・A・B・C を合格、D を不合格とする。(S 90 点以上、A 80 点以上、B 70 点以上、C 60 点以上、D 59 点以下) ・テュートリアル・TBL、臨床推論 TBL の成績は、課題ごとに 5 点を満点として評価し、セグメントごとの平均 3 点以上を合格とし、3 点未満を不合格とする。 ・病院実習（臨床実習）の成績は、実習科ごとに 5 点を満点として評価し、科目の平均 3 点以上を合格とし、3 点未満を不合格とする。 ・共用試験については、学外の指針を考慮して合否判定基準を設定する。	
3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本学では進級に係る及落判定基準の一部として使用している。各学生に対しては、在籍学年内でどのレベルの成績に位置しているかも段階レベルで全学生にフィードバックし、学力アップの一助としている。なお、本学における GPA の算出方法には以下に掲載・公表している。 ・GPA の算出方法 GPA 算出の分母数は履修科目数（看護学部は単位数）とし、算出された数値の小数点第 3 位を四捨五入するものとする。 $4.0 \times S \text{ 評価の科目数 (単位数)} + 3.0 \times A \text{ の評価の科目数 (単位数)} + 2.0 \times B \text{ 評価の科目数 (単位数)} + 1.0 \times C \text{ 評価の科目数 (単位数)} \div \text{総科目数 (単位数)} \text{ (「不合格 (D)」の科目数を含む)}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	【医学部】学生便覧内に記載 https://www.twmu.ac.jp/doc/about/corporation/2025/2025igakubinran.pdf 【看護学部】学生便覧内に記載 https://www.twmu.ac.jp/doc/about/corporation/2025/2025kangobinran.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学では、下記のとおりディプロマポリシーを定め、学則で定めるところにより、教授会の議を経て学長が認定を行っている。

○医学部のディプロマポリシー

卒業時には定められた授業科目を修了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。

1. 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。
2. 自ら問題を発見し解決する能力を持つ。
3. 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学のおよび臨床的思考力を持つ。
4. 安全な医療を行える能力を有する。
5. 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。

要件を満たした者には卒業を認め、学士（医学）を授与します。

○看護学部のディプロマポリシー

卒業時には定められた授業科目を終了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。

1. 豊かな人間性を育み、生活者としての人間を理解する基礎能力を有する。
2. 多様な価値観を受容し、国際的な視野に立って思考・活動できる基礎能力を有する。
3. 人間を成長発達する存在として捉え、看護学に基づき系統的に理解し、健康維持・増進・回復、疾病予防と回復にむけて働きかける能力を有する。
4. 看護の基本技術を身につけ、人間関係の基盤形成と科学的思考に基づいた看護実践能力を有する。
5. 地域における保健・医療・福祉・教育等の関係者と連携し、チーム医療を主体的かつ協調的に担う能力を有する。
6. 看護学に必要な研究の基礎能力を身につけ、現状の課題を発信する能力を有する。
7. 専門職としての倫理観を育み、自己の能力を評価し、女性医療人として生涯発達しつづける能力を有する。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	【医学部】 https://www.twmu.ac.jp/univ/medical/outline.php 【看護学部】 https://www.twmu.ac.jp/univ/nursing/outline.php
----------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東京女子医科大学	
設置者名	学校法人 東京女子医科大学	

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP https://www.twmu.ac.jp/doc/about/biz/2024_kessan.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	HP https://www.twmu.ac.jp/doc/about/biz/2024_hokoku.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.twmu.ac.jp/doc/about/biz/2024_kessan.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		
中長期計画(名称:	対象年度:	)
公表方法:		

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 2_jikotenken2020.pdf (twmu.ac.jp)

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法： 大学ホームページ ）
（概要） （医学部） https://www.twmu.ac.jp/univ/medical/outline.php 本学部の教育理念は、自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者を育成することにある。 教育の目的は将来医師として活躍する分野で必要な基本的知識、技能および態度を体得し、生涯にわたって学習を継続しうる基礎的能力を獲得することにある。 さらに、知識・技能だけでなく、患者一人ひとりに向き合い、それぞれの悩みを解決できる医療者、医療を実践する過程で、様々な人々と協働しながら、社会を先導する医療人、そして多様なキャリア形成とライフサイクルの中で、自分を磨き続けることのできる女性医師あるいは女性研究者を育成する。 （看護学部） https://www.twmu.ac.jp/univ/nursing/outline.php 本学部は、建学の精神に基づき、変動する社会情勢の中で看護の役割を認識し、責任を自主的に果たし得る看護実践者を育成する。すなわち、いかなる状況下においても、医療倫理を遵守し、至誠と愛の精神に基づいて行動できる看護職者としての基礎を確立することを目的とするものである。さらに、本学部の教育は、看護の専門性を追求し、看護学の発展に寄与できるための基礎を養うものである。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法： 大学ホームページ）
（概要） （医学部） https://www.twmu.ac.jp/univ/medical/outline.php 卒業時には定められた授業科目を修了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。 1. 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。 2. 自ら問題を発見し解決する能力を持つ。 3. 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学のおよび臨床的思考力を持つ。 4. 安全な医療を行える能力を有する。 5. 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。 要件を満たした者には卒業を認め、学士（医学）を授与します。 （看護学部） https://www.twmu.ac.jp/univ/nursing/outline.php 卒業時には定められた授業科目を終了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。 1. 豊かな人間性を育み、生活者としての人間を理解する基礎能力を有する。 2. 多様な価値観を受容し、国際的な視野に立って思考・活動できる基礎能力を有する。 3. 人間を成長発達する存在として捉え、看護学に基づき系統的に理解し、健康維持・増進・回復、疾病予防と回復にむけて働きかける能力を有する。 4. 看護の基本技術を身につけ、人間関係の基盤形成と科学的思考に基づいた看護実践能力を有する。 5. 地域における保健・医療・福祉・教育等の関係者と連携し、チーム医療を主体的かつ協調的に担う能力を有する。 6. 看護学に必要な研究の基礎能力を身につけ、現状の課題を発信する能力を有する。 7. 専門職としての倫理観を育み、自己の能力を評価し、女性医療人として生涯発達しつづける能力を有する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： 大学ホームページ）

（概要）

（医学部） <https://www.twmu.ac.jp/univ/medical/outline.php>

本学部教育理念は、自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者を育成することにある。

教育の目的は将来医師として活躍する分野に必要な基本的知識、技能および態度を体得し、生涯にわたって学習を継続しうる基礎的能力を獲得することにある。

さらに、知識・技能だけでなく、患者一人ひとりに向き合い、それぞれの悩みを解決できる医療者、医療を実践する過程で、様々な人々と協働しながら、社会を先導する医療人、そして多様なキャリア形成とライフサイクルの中で、自分を磨き続けることのできる女性医師あるいは女性研究者を育成する。

卒業時に達成すべき医師として必要な基本知識、技能および態度を「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」として示した学修成果（アウトカム）を達成し、建学の精神に沿って自立して社会に貢献する医療者となる基礎を体得し、大学の理念である「至誠と愛」を生涯に亘り実践するカリキュラムが構築されています。アウトカムを達成するための段階的な目標はロードマップとして示され、様々なカリキュラム、学修法によりロードマップとアウトカムを達成します。

（看護学部） <https://www.twmu.ac.jp/univ/nursing/outline.php>

卒業時に達成すべき看護師としての必要な基本的知識、技能および態度を「看護の実践力」および「慈しむ心の姿勢」として示した学修成果（アウトカム）を達成し、建学の精神に沿って自立して社会に貢献する医療者となる基礎を体得し、大学の理念である「至誠と愛」を生涯にわたり実践できるように、カリキュラムが構築されています。アウトカムを達成するための段階的な目標は、ロードマップとして示され、様々なカリキュラム、学修法によりロードマップと学修成果（アウトカム）を達成します。変動する社会の中で看護の役割を認識し、責任を自主的に果たし得る看護実践者を育成するために、以下の教育課程実施の方針を掲げます。

1. 1年次から2年次は、看護学の基礎となる理論や方法論の学修に偏ることなく、多くの科目を学生の興味関心に応じて選択できるようにしています。「倫理学 A・B」、「哲学 A・B」、「医療人のための経済学 A・B」などの科目、「初級ドイツ語 I・II」、「初級中国語 I・II」、「初級コリア語 I・II」、「国際看護論 I・II」等の語学と国際性を学びます。また、本学の特性である女性医療職の育成として「女性とジェンダー」、「文化人類学」などを通じて、「多様化する社会で生きぬく力をもつ人」を育てます。（DP1、DP2）
2. 2年次3年次では、看護の基礎となる病態学や基礎医学の科目、看護実践学として看護専門科目の講義、演習、実習を通して「科学とアートを融合した看護を実践する力」を育みます。（DP3、DP4）
3. 年次が進むにつれ看護の対象として個人、家族、集団、地域へと視野を広げるとともに、看護職の生涯発達の視点として「キャリア発達論 I・II・III」で「専門職として自己成長する力」を育みます。（DP4、DP5、DP7）
4. 医学部との協働教育科目や「地域包括ケア概論」「地域包括ケア連携論」を通じて「地域・人・組織を繋ぐ力をもつ人」を育みます。（DP4、DP5）
5. 社会のグローバル化や共生社会にむけて広い視野から思考できるように、1年次から海外研修や海外からの学生と交流する機会を「国際看護コミュニケーション I・II・III」として設置します。（DP5）
6. 4年間を通じての学修支援方法として、すべての科目はアクティブラーニング方式で行い、学生自身の学修スキルの向上が図れるようにします。（DP1～DP7）
7. 学生自身が、学修マップを描きながら自己の課題を明確にするとともに学修の歩みを可視化するポートフォリオを活用し、学生と教員が共に学び続ける体制を維持します。（DP1～DP7）
8. 看護職として生涯にわたる幅広いキャリア形成として看護師国家試験受験資格のほか、保健師国家試験受験資格の資格を得る選択コースも設置しています。（DP7）

入学者の受入れに関する方針（公表方法： 大学ホームページ）

（概要）

（医学部） <https://www.twmu.ac.jp/univ/medical/outline.php>

自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者となるために、学修者自身が問題意識をもち、自らの力で知識と技能を発展させていく教育を行います。

医師を生涯続ける意志を持ち、幅広い視野を身につけ、自ら能力を高め、問題を解決していこうとする意欲に燃えた向学者で、以下のような人材を求めます。

医学部が求める入学者像

1. きわめて誠実で慈しむ心を持つ人
2. 礼節をわきまえ、情操豊かな人
3. 独立心に富み、自ら医師となる堅い決意を持つ人
4. 医師として活動するために適した能力を有する人

本学で学修しようとする者には、本学の建学の精神と大学の理念を理解して学ぶことを求めます。その上で、本学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に沿って学修して、学修成果（アウトカム）を達成し、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を満たし、生涯に亘り医師として、女性医療者として自立して多方面で活躍する人材を、多様な方法により選抜します。

（看護学部） <https://www.twmu.ac.jp/univ/nursing/outline.php>

東京女子医科大学では、女子に医学ならびに看護学の理論と実際を教授し、創造的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献する女性医療人を育成するとともに、深く学術を研究し、広く文化の発展に寄与できる人材の養成を目的としています。

本学の目的をふまえ看護学部では、多様な文化に柔軟性と創造性をもって受け入れつつ、科学的思考と人間性に基づく優れた看護実践者を養成することを目指します。そのため医学部との合同校舎という恵まれた環境で高齢多死社会を見据えた地域医療と先進的医療を学び、保健医療福祉チーム医療による医療・ケアの継続性について探求します。

未来に向かって思考し主体的に取り組む姿勢を育てるため、本学の教育は学生自身が問題意識をもち、自らの力で知識と技術を発展させていくことを期待しています。そのため本学では、幅広い視野を身につけ、自ら能力を高め、問題を解決していこうとする意欲に燃えた学生に広く門戸を開いています。

入学者の選抜において、試験問題の内容は高等学校できちんと学び、身につけた力で解くことのできる基礎的なものであり、高等学校教育段階において達成を目指すものと同等です。入学後の教育に十分に対応できる資質として、文系・理系にとらわれず幅広く学修し、国際的な広い視野と外国語の基礎的能力を備えていることを重視します。そのため、知識を詰めこむことよりも、持っている知識を関連づけて解を導く能力の高さを重視します。東京女子医科大学は、志望する皆さんが以上のことを念頭に、高等学校までの教育から学業のみならず部活動やボランティア活動など、できるだけ多くの経験から、できるだけ深く学ぶよう期待します。

看護学部が求める入学者像

1. 看護への強い関心を有し、医療人として社会に貢献する意欲の高い人
2. 主体的に学ぶ姿勢と、自ら問題を発見し解決していく態度を備えている人
3. 豊かな感性を備え、人間関係を育む力を有している人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.twmu.ac.jp/doc/about/20260401organizationchart.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1 人	－					人
医学部	－	113 人	101 人	120 人	688 人	21 人	1043 人
看護学部	－	8 人	6 人	13 人	9 人	0 人	36 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		552 人					552 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://gyoseki.twmu.ac.jp/twmhp/KgApp					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
医学部	110 人	110 人	100%	660 人	663 人	100.5%	0 人	0 人
看護学部	90 人	90 人	100%	360 人	356 人	98.9%	0 人	0 人
合計	200 人	200 人	100%	1020 人	1019 人	99.9%	0 人	0 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
医学部	112 人 (100%)	0 人 (0%)	106 人 (94.6%)	6 人 (5.4%)
看護学部	96 人 (100%)	5 人 (5.2%)	84 人 (87.5%)	7 人 (7.3%)
合計	208 人 (100%)	5 人 (2.4%)	190 人 (91.3%)	13 人 (6.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) (医学部) (看護学部) 東京女子医科大学学則や医学部・看護学部授業科目規程、学生生活を送る上でのルールブックとなる「学生便覧」や各授業科目の詳細を記載した「学修の手引き」「シラバス」を下記により公表している。 https://www.twmu.ac.jp/univ/about/corporation_2025.php
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
医学部	医学科	281 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
看護学部	看護学科	124 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：公表方法：ホームページ上で公開している。 https://www.twmu.ac.jp/univ/campusmap.php

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
医学部	医学科	2,800,000 円	2,000,000 円	6,649,000 円	
		円	円	円	
看護学部	看護学科	1,100,000 円	450,000 円	612,200 円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 医学部 ・一般選抜合格者の成績上位 5 名の入学者に対する特待生制度 https://www.twmu-u.jp/wp-content/uploads/2025/08/c43d57becc25447e0e1e87f7bddd48.pdf ・東京女子医科大学 特別奨学生制度 https://www.twmu-u.jp/medical-ent-shougaku/ 看護学部 ・看護学部看護職員奨学のための貸与金 https://www.twmu-u.jp/nursing-ent-shougaku/
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) (看護学部) 就職や進学について相談がある場合、学生委員会キャリアサポート担当者に相談することができ る。相談方法は、原則、キャリアサポート担当にメールで連絡を行い、アポイントを取る。キャリ アサポート担当者から、相談内容に応じた教員の紹介と相談日時の連絡があるので、連絡内容に従 って相談する。キャリアサポートの相談については、ポータルサイト、学生掲示板に、詳細が掲示 されるので、内容を確認すること。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 学生健康管理室では、学生サポートの生活支援のうち、心身の健康保持促進を積極的に行っていま す。定期健康診断、医療人としての感染症管理（予防接種、抗体管理）を行うほか、健康相談、健 康管理教育を担当しています。 医学部では有意義な学生生活を送れるよう、また悩みの相談や修学支援のために学生委員会メンバ ーによる学年担任制を採用しています。一人の専任教員（基礎医学系メンバー）が 1～3 年生まで の 3 年間を、4～6 年生の 3 年間を臨床実習担当の専任教員（臨床医学系メンバー）が持ち上がり で担当することにより、個々の学生の成長をきめ細やかに見守り、支援する体制を整えています。 医学部 https://www.twmu.ac.jp/univ/medical/campuslife/support.php

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ上で公開している。 https://www.twmu.ac.jp/univ/about/corporation_2025.php https://www.twmu.ac.jp/univ/about/outcome.php 備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。
